



高木 武志  
日本共産党

**連携中枢都市圏構想を  
拙速に進めたいこと**

**問** この構想は、周辺自治体や市内でもコンパクト化等が行われ、公共施設の統廃合になりかねない。周辺自治体や市内周辺の過疎化が進むことや周辺自治体の地方交付税が削減され中枢都市福山に集中することが

懸念される。住民生活に大きな変化をもたらす連携協約の締結を拙速に行わないことを求める。

**答** 構想の推進に当たり、びんご圏域活性化戦略会議等幅広い分野で意見を伺いながらビジョンの策定などに取り組んできた。

ビジョンは圏域の一体的な発展をめざしたもので、本市は連携中枢都市として圏域をけん引していく責任と役割がある。とりわけ経済成長等に係る施策は本市が中心となって取り組む必要があり、国から必要な財源が措置されるもの。



岡崎 正淳  
無所属

**小中一貫教育と学校教育環境に  
関する基本方針(案)について**

**問** ①小中一貫教育での中学校区における地域との連携について、望ましい方向は。

②基本方針(案)策定に、文科省の手引をどう参考にしたのか。  
③学校統合には、保護者や地域住民も参加する検討組織等、き

め細やかなプロセスが必要では。

**答** ①学校、家庭、地域との連携を今後さらに強め、市民の皆さまと一丸となって地域の子どもたちを育てる小中一貫教育をめざす。  
②個別具体を検討する際に、学校統合の適否や小規模校を存置する場合の充実策等を検討する際の基本的な方向性や考慮すべき要素、留意点等をまとめた手引を参考とする。

③保護者や地域住民の皆さまに丁寧に説明し、しっかりとご意見を聴きながら十分連携を取りたい。



藤田 仁志  
無所属

**通級指導が必要とされた  
児童への対応は**

**問** 通級教室が必要とされているのに待機している児童がいると聞く。また、年度途中で通級指導が必要と判断された児童に対しどのように対応しているのか。

**答** 通級指導が必要と判断され

た全ての児童生徒の受け入れができています。また、年度途中でも、必要と判断された場合は指導が受けられるようにしています。



**6月定例会の開催予定**

6 / 15 (月)	本会議 (市長提案説明など)
18 (木)	議会運営委員会
22 (月)	本会議 (一般質問)
23 (火)	本会議 (一般質問)
24 (水)	本会議 (一般質問)
25 (木)	本会議 (一般質問)
26 (金)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)
30 (火)	議会運営委員会 本会議 (委員長報告など)

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。(ただし、6月30日の本会議は午後1時からの予定。)

○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。  
☎084-928-1136

※通級指導：障がいがある児童生徒のうち、通常の学級に在籍している障がい比較的軽度な児童生徒に対して、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいに応じた特別の指導を「通級指導教室」で行う教育形態。